✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　緊急地震速報利用者協議会、「あいち防災フェスタ」に出展しました

平成 22 年 11 月 7 日に愛知県とあいち防災協働社会推進協議会が主催する「あいち防災フェスタ」が愛知県愛知郡長久手町の愛・地球博記公園(モリコロパーク)で開催され、主催者からの要請により緊急地震速報利用者協議会が出展しました。

会場は平成 17 年に愛・地球博が開催された場所で、名古屋駅から地下鉄とリニアモーターカー(リニモ)を乗り継ぎ 50 分ほどの所にある広大な跡地で、いくつかの施設と大きなイベント会場は、里山がいくらか色づき始めた自然豊かな環境です。

緊急地震速報利用者協議会では、会員に出展希望を募ったところ、4 会員から出展の希望がありました。事務局では緊急地震速報の周知・広報のために、パネルの掲示やロゴマークとピクトグラムのシール配布を行い、出展者はそれぞれ特徴のある緊急地震速報の受信端末やソフトウェアの展示・実演を行いました。当日は、早朝から展示ブースで準備に取りかかり、11 時のオープニングセレモニーまでに見栄えのする展示をセットすることができました。

愛知県は、知事の開会宣言に始まり、来賓として内閣府参事官を迎えるなど、この防災フェスタにかなり力を入れている様子が窺えました。

開会の様子

緊急地震速報利用者協議会のブース

会場には 30 を超える防災関係団体のブースが設営され、そのひとつに名古屋地方気象台のブースもあり、気象庁マスコットキャラクターの「はれるん」も愛嬌をふりまいて、人気者の「はれるん」と一緒に写真撮影をする光景が見受けられました。好天に恵まれたことから、来場者には家族連れが目立ち、スタンプラリーも行われたこともあり、熱心に各ブースを回られていました。緊急地震速報利用者協議会のブースでは、緊急地震速報を初めて知った人も多く、一人でも多くの方に緊急地震速報を知っていただくため、展示したパネルを活用して仕組みから利用方法まで、丁寧に説明しました。特に、関連出展者には防災関係の方が多いことから、緊急地震速報に強い関心を示し、熱心に受信端末などの説明を受けておりました。このような周知・広報活動が、緊急地震速報の普及の一助となり、多くの国民が緊急地震速報の恩恵を享受できる環境が整うことを願ってやみません。

（緊急地震速報利用者協議会事務局　財団法人気象業務支援センター配信事業部長　加藤 芳夫）